久我山病院　薬剤部　御中（Email：yaku-yakuzai@kugayama.co.jp）

保険薬局→薬剤部→主治医

報告日：　　年　　月　　日

外来化学療法に関する情報提供書（トレーシングレポート）

担当医：　　科 先生　御机下	保険薬局　名称・所在地・TEL
患者ID： 患者名：	担当薬剤師名：

がん薬物療法に関する薬学的管理（副作用評価及び服薬指導）を行ないました。下記の通りご報告いたします。

聞き取り日：　　年　　月　　日	対応者：☐本人　☐家族　☐その他（　　）
聞き取り方法：☐投薬時　☐テレフォンフォローアップ時　☐患者さんからの問い合わせ（　　）	
治療薬（レジメン名・薬剤名）：	

■副作用評価

症状		Grade1		Grade2		Grade3	
悪心（吐き気）	☐なし	☐	摂食習慣に影響のない食欲低下	☐	顕著な体重減少、脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	☐	カロリーや水分の経口摂取が不十分：経管栄養/TPN/入院を要する
嘔吐	☐なし	☐	治療を要さない	☐	外来での静脈内輸液を要する：内科的治療を要する	☐	経管栄養/TPN/入院を要する
倦怠感	☐なし	☐	だるさがある、または元気がない	☐	身の回り以外の日常生活を制限するだるさがある、または元気がない状態	☐	身の回りの日常生活を制限するだるさがある、または元気がない状態
食欲不振	☐なし	☐	摂食習慣の変化を伴わない食欲低下	☐	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない摂食量の変化：経口栄養剤による補充を要する	☐	顕著な体重減少や栄養失調を伴う：静脈内輸液/経管栄養/TPNを要する
口内炎	☐なし	☐	症状がない、または軽度の症状：治療を要さない	☐	経口摂取に支障がない中等度の疼痛または潰瘍：食事の変更を要する	☐	高度の疼痛：経口摂取に支障がある
下痢	☐なし	☐	ベースラインと比べて1日3回以下の排便回数の増加	☐	ベースラインと比べて1日4-6回の排便回数の増加：身の回り以外の日常生活動作の制限	☐	ベースラインと比べて1日7回以上の排便回数の増加
便秘	☐なし	☐	便軟化剤/緩下剤/浣腸を不定期に使用	☐	緩下剤または浣腸の定期使用を要する持続的症状	☐	摘便を要する頑固な便秘
末梢性ニューロパチー（しびれ）	☐なし	☐	症状がない	☐	中等度の症状：身の回り以外の日常生活動作の制限	☐	高度の症状：身の回りの日常生活動作の制限
手足症候群	☐なし	☐	疼痛を伴わない軽微な皮膚の変化または皮膚炎（紅斑、浮腫、角質増殖症など）	☐	疼痛を伴う皮膚の変化（角層剥離、水疱、出血、亀裂、浮腫、角質増殖症など）	☐	疼痛を伴う高度の皮膚の変化（角層剥離、水疱、出血、亀裂、浮腫、角質増殖症など）

その他、上記に該当しない副作用があれば症状の詳細を記載してください

CTCAE v5.0-JCOGを一部改変

■服薬状況の確認

経口抗がん剤または支持療法の有無：☐あり　☐なし

服薬状況：☐服用出来ている　☐服用出来ていない　☐その他（　　）

■その他の特記事項（処方提案など）